

(イ) 恩給年額の改定について

恩給法等の一部を改正する法律（昭和45年法91号）及び福島県職員恩給条例の一部を改正する条例（福島県条例44号）の施行により、昭和45年10月分以降全受給者を対象とした増額改定を行なった。

この増額措置は、恩給審議会の答申の趣旨にかんがみ、昭和42年までの経過措置として昨年10月から実施した増額改定における増額率を補正するとともに、昭和43年における消費者物価、公務員給与の上昇等を考慮して昭和40年の改定時の57.47%増の額、現行額の8.75%増の額に増額した。

その他、教育職員から教育文官たる視学又は教育委員会の事務局職員等になり、さらに教育職員に転じた場合には公務員全体としては引き続いているにもかかわらず、勤続加給の取扱いは前後の教育職員は引き続かないとされていたが、法改正により、前後の教育職員は引き続くものと改められたので、該当者の恩給率の改正を行なった。

(5) 退職手当について（県費）

昭和45年度における退職手当の裁定、支給済額の概数は次のとおりである。

学校種別	人数	金額
小学校	239人	944,870,061円
中学校	139	438,534,365
高等学校	147	570,640,574
盲・ろう学校	12	18,967,081
養護学校	4	7,421,590
教育庁	3	991,440
計	544	1,981,425,111

4 福祉事業

(1) 県費による事業

県教育委員会においては、公立学校共済組合福島支部ならびに、福島県教職員互助会と関連し合いながら、地方公務員法第42条の定めるところにより、職員の元気回復その他厚生に関する計画の樹立と、その実施にあたっているが、昭和45年度においては、県単独事業として次に掲げる事業を実施した。

① 教職員美術展覧会

美術をとおして教職員相互の親睦をはかり、あわせて美術教育の向上にも資することを目的として実施する教職員美術展覧会は、10月初旬から下旬にかけて福島市外3会場において開催した。本展覧会は年を追うごとに教職員間の理解も深まり、出品点数の増加と作品の多様化など内容の充実に向上がみられたが、今回で第10回を数えるに至り、おおむね当初期待した成果を遂げ得たことと最近美術関係のこの種の催しは数多く開催される傾向にあり、それらの催しと競合することなども考慮し、今回で一応終了することとした。なお、45年度の各会場ごとの出品数は下表のとおりである。

会場別出品点数

種別	会場					合計
	福島市	白河市	会津若松市	いわき市		
絵画	53	46	58	39		196
書道	37	74	60	27		198
彫塑	18	4	3	4		29
工芸		2	7			9

② 教職員スポーツ大会

教職員の健康増進と友愛親善をはかることを目的として開催した教職員スポーツ大会は、今回で第12回を迎え、福島市外5会場において3,852名の参加を得、8月30日県内一斉に開催した。各会場とも種目によっては参加者の確保に苦慮されたむきもあったが、それぞれの地区の実情によって最善の運営方法が検討され、実施されたこともあって和気あいあいのうちにも始終熱戦が展開された。各会場毎の種目別参加人員は次表のとおりである。

種目	会場					
	福島市	石川町	矢吹町	会津若松市	いわき市	原町市
陸上	191	154	76	129	143	—
バレーボール(男)	112	69	31	52	53	62
バレーボール(女)	97	66	30	51	50	49
バスケットボール	76	65	23	52	56	—
軟式野球	57	43	17	28	28	—
柔道	155	70	54	50	60	—
剣道	34	43	32	30	30	—
卓球(男)	51	47	7	32	32	3
卓球(女)	72	38	13	28	25	29
ソフトボール(校長)	93	29	12	27	25	25
ソフトボール(教頭)	120	77	65	64	64	—
ソフトボール(女子)	135	74	57	63	64	—
計	1,193	775	385	67672	627	200

※注 原町市会場においては、当日雨天のため室外競技は後日適宜の日に実施された。

③ 退職教職員福祉懇談会

本県教育の正常なる発展向上をはかる途として、退職教職員の代表50名の参集を得て、その豊富な経験にもとづき、教育行政及び教職員福祉の向上に資するために、本県教育の振興策と教職員福祉の向上はいかにあるべきかのテーマで、退職教職員福祉懇談会が9月16日開催した。県知事の講話のあと、前記のテーマについて職中のおとい経験をもとに在野の一民間人としてきたんのない意見が開陳され、有意義な懇談会とすることができた。

④ 結婚記念品贈呈（新規）

本年度内に新家庭をつくられる教職員を祝福し、記念品（国旗セット、夫婦茶わん）を贈呈した。夫婦とも教職員であるときは、装飾鏡をあわせて贈った。その状況は次のとおりである。

国旗セット・夫婦茶わん	363名
装飾鏡	126名

(2) 県費と共済組合費による事業

① 成人病予防巡回検診（事業開始7年目）

成人病の早期発見と早期治療を図り、教職員より成人病を一掃するため、県内28市町村に県成人病予防協会の